

「ラニチジン塩酸塩製剤」の自主回収への対応について

2019年10月17日

病院長 堤 晴彦

消化性潰瘍や胃炎の治療薬である「ラニチジン塩酸塩」の有効成分に発がん性の可能性がある」とされる N-ニトロソジメチルアミン（以下、NDMA）が基準値を超えて混入していたことが判明したため、販売メーカーより自主回収を行う旨、発表がありました。

お手持ちの医薬品の中に、回収対象薬品（下記）がございましたら、自己判断せず、先ずはお薬を受け取った保険薬局にご相談下さい。

また、ご心配・ご不明な点などございましたら、主治医にご相談下さい。

<回収対象薬品>

ー内服薬ー

ザンタック錠 75, ザンタック錠 150

ラニチジン錠 75mg 「日医工」, ラニチジン錠 150mg 「日医工」

ラニチジン錠 75mg 「KN」, ラニチジン錠 150mg 「KN」

ラニチジン錠 75mg 「JG」, ラニチジン錠 150mg 「JG」

ラニチジン錠 75mg 「YD」, ラニチジン錠 150mg 「YD」

ラニチジン錠 75mg 「サワイ」, ラニチジン錠 150mg 「サワイ」

ラニチジン錠 75mg 「タイヨー」, ラニチジン錠 150mg 「タイヨー」

ラニチジン錠 75mg 「ツルハラ」, ラニチジン錠 150mg 「ツルハラ」

ラニチジン錠 75mg 「トーワ」, ラニチジン錠 150mg 「トーワ」

ラニチジン錠 75mg 「マイラン」, ラニチジン錠 150mg 「マイラン」

<危惧される具体的な健康被害>

NDMA は発がん物質であり、重篤な健康被害に至る可能性は否定できませんが、これまでに発がん性を示唆する事象は認められていません。今後、発がん性を示唆する事象が認められた場合は速やかに情報提供が行われます。

当院では、今後も情報収集を行い、新たなことが分かり次第適切に皆様に情報提供させて頂く予定です。

問い合わせ先

埼玉医科大学総合医療センター薬剤部

049-228-3543